



カジカ 絶滅危惧Ⅰ類 全長約15cm

香東川の上流域で分布が確認されている。危険性・絶滅の要因は、ダム建設や河川改修による生息場所の減少等がある。

## 希少野生生物の保護にむけて

野生生物の多くは、さまざまな自然環境に順応し、人の生活と共存してきましたが、人の生活様式が変化・拡大するにつれ、その生息する環境が脅かされ絶滅のおそれが心配されるなどの問題が生じています。このようなことから環境省では、「日本の絶滅の恐れのある野生生物ーレッドデータブック」をとりまとめ、自然保護の啓発に努めています。

香川県でも、平成16年3月に香川県レッドデータブック（香川の希少野生生物）を作成して、県内に生息する絶滅のおそれのある野生生物として798種の状況を示しています。これは、当県の地域に特化した考え方を盛り込み選定しており、国レベルの評価では捉え切れなかった香川県の種の現状、自然環境の現状をより適切に表現しています。

次いで、絶滅の恐れがある希少な野生生物の保護を図るために、香川県希少野生生物保護に関する条例が制定されました。

### 香川県希少野生生物の保護に関する条例

捕獲禁止や開発制限  
平成17年7月15日制定

#### ◆レッドデータブックに掲載された野生生物の種

分類群	カテゴリー	絶滅	絶滅危惧		準絶滅危惧	情報不足	合計
			I類	II類			
植物	5	201	95	89	11	401	
哺乳類	1	—	—	4	—	5	
鳥類	—	16	19	30	6	71	
爬虫類	—	—	—	3	2	5	
両生類	—	1	2	2	—	5	
淡水魚類	—	8	7	4	—	19	
昆虫類	4	24	52	143	14	237	
甲殻類	—	1	—	3	—	4	
陸産・淡水産貝類	2	23	16	9	1	51	
合計	12	274	191	287	34	798	

当研究センターでは、これらに関する研究として水生植物のオニバス、アサザなどの育成環境調査や淡水魚類のニッポンバラタナゴの種の保護のための遺伝子解析、カジカの保護に取り組んでいます。

一度、失った自然環境を復元することは、至難なことです。またそこで息づく種の絶滅は決して蘇らないのです。地球上に住む私たち人間は、自然環境がもたらす豊かな恵みをすべての生物と共有して生きなければならない生態系の一員なのです。

私たちがすべきことは……



1. ゴミの投棄など生物の生息地を汚したり、破壊しないようにする。
2. もともとその地域に生息していなかった外来種を野外に放たない。
3. 過剰な捕獲や採取を控え、地域の自然を大切にす。
4. いろいろな生物がそれぞれに生きながら自然の中で共存している「生物の多様性」の大切さを知る。

# 大気汚染常時監視システム

さぬきの空情報館

[http://www.taiki.pref.kagawa.jp/sanuki\\_sora.htm](http://www.taiki.pref.kagawa.jp/sanuki_sora.htm)

を更新しました!!

平成17年7月、3度目の更新を行いました。

旧システムの老朽化等に伴い、従来の監視機能に加え、有害大気汚染情報などのデータベースシステムの構築やインターネットによる情報の即時提供などの機能が追加され、これにより光化学オキシダントなどの有害物質高濃度時の緊急時には、さらに迅速な対応が可能となりました。



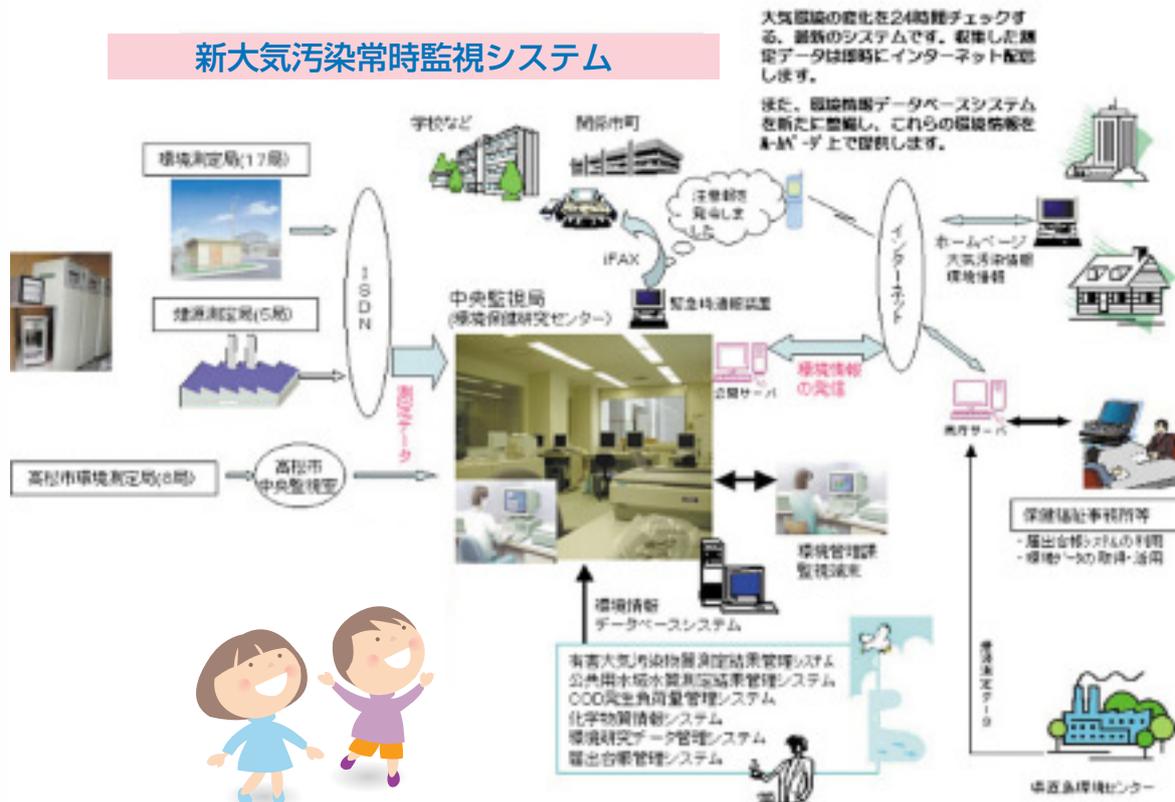
開所式でのテープカット

## 大気汚染常時監視システムとは……

県内各地に、自動測定器を設置し、窒素酸化物や光化学オキシダントなどの汚染物質のほか、風向・風速・日射量などの気象条件を測定しています。

これらの測定データを、当センター中央監視局で処理収集し、環境基準の達成状況を調べるとともに、光化学スモッグが発生するなど、大気汚染が深刻な状態になった時には、予報や注意報等を発令して、工場・事務局、保健所、市町等に向けて通報、汚染物質排出量の大きな工場をもつ企業には排出量の削減などの協力を要請し、被害の未然防止に努めています。

## 新大気汚染常時監視システム



# アスベスト(石綿)とは

天然に産する繊維状けい酸塩鉱物で、熱、摩擦に強く切れにくく、酸やアルカリにも強いという特徴をもちます。

主に鉄骨構造建築物などの軽量耐火被覆材として多く使用されていましたが、現在では原則製造禁止となっています。

## その他の用途

スレート材、ブレーキライニングやブレーキパッド、防音材、断熱材、保温材等

## なぜ危険か

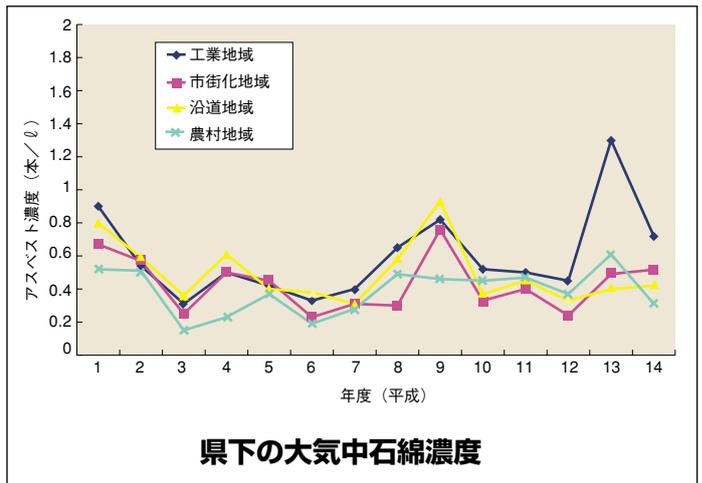
石綿は、その繊維が極めて細いため、呼吸により人の肺に入り組織に刺さると15～40年の潜伏期間を経て悪性中皮腫などの病気を引き起こすおそれがあります。

## 大気中にどれほど存在するか

大気中のアスベスト濃度は、環境省において、平成7年度まで定期的にモニタリングが行われていました。香川県においても定期的に環境調査を行っており、その濃度はほぼ横ばい傾向にあります。

### 大気中の許容濃度

WHO環境保健クライテリアにより「世界の都市部の一般環境中の石綿濃度は1本/ℓ程度であり、この程度であれば、健康リスクは検出できないほど低い」とされています。



## よみがえれ ため池!

### 水質浄化技術の開発実証試験進行中

香川県はため池密度が全国一であり、農業用水としての利用だけでなく、身近な親水空間としての憩いの場にもなっています。しかし、近年はアオコの発生などにみられる富栄養化が進行し、水質改善が望まれています。

県では、香川らしい水環境を再生・創出するために、ため池の水質浄化技術について、開発等の取り組みを進めています。

当研究センターでも、今年度、環境省からの委託を受けて、湖沼等の水質浄化技術分野での「環境実証モデル事業」を実施しています。この事業では、流入汚濁負荷の削減だけでは水質改善が難しい閉鎖性の水域(ため池等)で、水質浄化のための開発処理装置を実際に稼働し、水質の浄化効果を表すDO、COD、SS、透視度などの調査項目により測定・解析を行うなど、実証試験を進めています。



ため池の水質調査



水処理装置設置状況(牟礼町長池にて)

今年も盛大に開催

「われら

DOK! DOK!

土器川体験隊」

県下唯一の一級河川である土器川を、「地域の人たちが理解し、川への親しみを深めてもらうとともに、地域に密着した土器川となるよう、河川の愛護の啓発をはかり、また、環境教育の一助として実施する。」ということで、毎年、国土交通省の主催で、丸亀市及び土器川生物研究会等関係団体の協賛、香川県及び丸亀市淡水漁業組合の協力により、土器川を舞台に近隣の多くの人たちの人気を集めています。昨年の7月は、「土器川であそぼう」をテーマのもと、約350名の親子連れでたいへんにぎわいました。当研究センターからは、水生生物調査指導者を派遣し、現地で環境体験学習を担当しました。

土器川が地域の人々に親しまれ、次世代に引き継ぐ子供たちにも関心を深めてもらい、河川の保全意識の高揚や、ボランティア活動などの保全活動が、活発になることが期待されています。



## 研究の「外部評価制度」進行

県民生活の質の向上につながる実用的な研究を推進していくために、当研究センターの試験研究テーマを、外部の専門家等で構成される委員会が適切に外部評価を行います。この制度は、平成16年度に試行され、今年度から、施行となったもので、外部評価結果の概要などは、わかりやすく取りまとめられ、県のホームページに掲載されています。



今年度の事前評価対象研究テーマは、**「香川県におけるレジオネラ感染予防に関する研究」**で、事後評価対象研究テーマは、**「水生植物を活用した水質浄化実験」**ほか2テーマで、すべてについて、「A」の評価があり、「優秀」であるとされました。

## 環境学習は 今



### 環境研・学習サポートボックス事業

今年度も、「水生生物調査」が大変人気！ついで、「CODパケットテスト」の水質検査、「大気中の二酸化炭素」の測定の順となりました。

「総合の学習の時間」に環境学習を実施するうえで、自然に親しむという切り口からだ、と、「水生生物調査が取り組みやすい」との意見が先生方に多いようです。ところで、今もっとも必要とされている環境学習は、地球の環境問題のうち、温暖化問題ではないでしょうか。今年度に、県 環境・水政策課では、この関係の学習プログラムを当研究センターの職員等関係職員で構成する委員会を立ち上げ、創作中です。ご期待ください。

かがわ環境研だより Vol.6 平成18年1月

編集・発行 香川県環境保健研究センター

〒760-0065 香川県高松市朝日町5丁目3-105

TEL : 087-825-0400 FAX : 087-825-0408

総務企画課	総務担当 企画情報担当	087-825-0400 825-0415
環境科学部門	水質担当	825-0401
	大気担当	825-0402
	常時監視担当 自然環境担当	825-0403 825-0401
廃棄物・リサイクル部門	廃棄物担当	825-0405
	資源化・リサイクル担当	825-0405
保健科学部門	微生物担当	825-0412
	生活科学担当	825-0413
	臨床科学担当	825-0414

Eメール : kanpoken@pref.kagawa.lg.jp

Eメール : kagawa-kanpoken@nifty.ne.jp (環境研・学習サポートボックス)

ホームページ : [http://www.pref.kagawa.jp/kankyo/e\\_center/hoken.htm](http://www.pref.kagawa.jp/kankyo/e_center/hoken.htm)